

小城市立岩松小学校
学校だより 第23号



岩松小だより

令和7年10月3日発行
発行者 校長 真子靖弘

最高の思い出へ、全力前進！

先日、運動会実行委員の子どもたちが何度も話し合いを重ね、熱い思いを込めた**今年度のスローガン**が、ついに決定いたしました。

「岩松魂を燃やし 全力前進で 最高の思い出を」

このスローガンには、「岩松小学校の仲間みんなで心をつにし、最後まで諦めずに全力を尽くすことで、最高の運動会を創り上げたい！」という、実行委員の強い願いが込められています。

そのスローガンを胸に、**10/2(木)**には運動会への気持ちを高める**結団式**が行われました。**実行委員の熱い決意**とともに、今年の結団式で特に素晴らしかったのは、**子どもたちが自主的に創り上げた「応援の形」**です。



赤団がパフォーマンスを披露する際には、白団の児童が太鼓を叩いて場を盛り上げ、白団の発表には赤団が力強い手拍子で応えるなど、**互いの健闘をたたえ合う温かいエール交換**が見られました。単なる「ライバル」を越え、**共に運動会を創り上げる「仲間としての絆**が感じられる感動的な時間となりました。

6年生担任の**古川教諭**も、「**子どもたちの自主性に任せたからこそ生まれた、最高のパフォーマンスでした。相手を尊重し、高め合える子どもたちの姿は、まさに岩松小学校の自慢です(^^)**」と、目を細めていました。

この素晴らしいスローガンのもと、全校児童と教職員が一丸となり、子どもたちの心に深く刻まれる運動会を創り上げていきます。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご声援を、どうぞよろしくお願いいたします。



届け、未来へのメッセージ！

9/25(木)、体育館が心地よい緊張感に包まれる中、「**少年少女の声発表大会**」を開催いたしました。厳しい審査を通過した代表児童5名が、ステージの上から、日頃考えていることや故郷への思いなどを堂々と発表しました。一人ひとりが自分の言葉で一生懸命



命に語る姿に、聴いていた全校児童や教職員も真剣に耳を傾けていました。審査の結果、**6年生の大谷雪乃さん**が、岩松小学校の代表に選ばれました。大谷さんは、**11/15(土)**に行われる**市大会に出場**します。

子どもが安心して過ごせる学校であるために

全国的に教育現場における様々な課題が報道されている状況を受け、本校では改めて、子ども一人ひとりが「**安心して学校生活を送れる環境づくり**」の重要性を再認識しております。先日の会議において、全職員で下記の取り組みを徹底し、**教職員一人ひとりが高い意識を持って教育活動にあたることを確認**いたしましたので、お知らせいたします。

<私たちの取り組み>

1 計画的な校内巡視の実施

不審者の侵入や危険箇所がないか常に注意を払い、子どもの安全を第一に考えた環境整備に努めます。

2 校内施設の定期的な安全点検

子どもが安心して施設を利用できるよう、毎月、管理職等が更衣室やトイレなどを巡視し、不審物や盗撮カメラ等が設置されていないか、責任を持って点検いたします。

3 撮影・記録に関するルールの徹底

教職員による子どもの撮影・録音は、個人のスマートフォンや携帯電話では一切行いません。活動の記録等で撮影が必要な場合は、学校が管理するデジタルカメラのみを使用いたします。

4 風通しの良い職場環境づくり

職員同士が常に声をかけ合い、情報を共有することで、問題の早期発見に努めます。「見て見ぬふりをしない」姿勢を大切に、組織として子ども一人ひとりを見守ります。

私たち教職員一同は、互いに尊重し合い、支え合いながら、子どもたちの健やかな成長を第一に考え、皆様から信頼される学校づくりに全力で取り組んでまいります。